

市議会

だより
2020.2.1 NO.63



白梅にわずかに紅梅が入る 品種は「思いのまま」

万葉集
 初春の令月にして
 気淑く風和ぎ、
 梅は鏡前の粉を披き、
 蘭は珮後の香を薫す

～万葉集 現代語訳～

新春の好き月、空気は美しく風はやわからに、梅は美女の鏡の前に装う白粉の如く白く咲き、蘭は身を飾った香の如き香りを漂わせている

令和元年第4回定例会は、去る12月3日から12月20日までの18日間の会期で開かれました。
 今定例会には、市長提出議案17件、認定2件、選挙1件が上程されました。
 ※36ページから27ページまでが議会だよりとなっています

- 主な内容
- ① 議長、副議長就任挨拶等 ……P35
 - ② 一般質問 ……P34～P30
 - ③ 議決結果一覧 ……P30
 - ④ 委員会の審査概要 ……P29～P28
 - ⑤ 議会活動 ……P27

新築 リフォーム 不動産

NISSIN 日新ハウジング株式会社

西国中央市中曾根町1781-3 TEL:0896-24-1010

土地探しもお任せください

日新ハウジング西国中央 検索

LIXIL 住宅研究所 アイフルホーム 川之江店

工務部門コンテスト優秀品質賞 13年連続受賞

キッズデザイン賞 10年連続受賞

詳細はWEB スマホサイト オープン!

応援します 安心の家づくり

アイフルホーム川之江店 検索

愛媛県西国中央市豊島町1210-1 TEL:0896-56-7701

水田法律事務所

愛媛弁護士会所属 弁護士水田大輔

まずはお気軽にお電話を

☎(0896) 22-4003

四国中央市川之江町1856-35 三木ビル3階

交通事故・相続 不動産の問題・離婚 債務整理 その他民事一般

令和元年 第1回 臨時会

令和元年第1回臨時会において、議長・副議長が選出されました

議長・副議長就任挨拶



議長
石津千代子



副議長
山川和孝

市民の皆さまには、日頃から市議会に対し、深いご理解とご協力を頂き、厚く御礼申し上げます。

私たちは、12月臨時会におきまして、議長、副議長に就任致しました。

その職責の重大さに身の引き締まる思いであり、公正で円滑な議会運営のために、誠心誠意努力して参る所存であります。

さて、四国中央市の芸術、文化の拠点となる市民文化ホールや児童、生徒へ安全で良質な食事を提供する東部学校給食センターなど大型事業が着々と完成しております。また、全小中学校へのエアコン設置や危険なブロック塀の改修により学校が快適で安全な環境になるよう整いつつあります。

市議会におきましては、議会業務継続計画（BCP）を策定し、県下で初めてタブレット端末を使った訓練を実施するなど、災害に対して早期に機能回復を図ることが可能となりました。また、8月には女性議会を開催し、女性の視点に立った行政への質問、提言の場を設け、女性の市政への関心を一層高めることができました。

今後も議会の役割や責務を自覚するとともに、市民にわかりやすい開かれた信頼される議会を目指して、更なる議会改革を邁進させて参りますので、なお一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

議長の略歴

昭和17年7月18日生(77歳)
平成10年11月22日初当選
四国中央市議5期目
議会運営委員会委員長
広報ICT推進特別委員会委員長
などを歴任

副議長の略歴

昭和22年5月6日生(72歳)
平成24年11月11日初当選
四国中央市議2期目
産業建設委員会委員長
地方創生特別委員会委員長
などを歴任

常任・特別・議会運営委員会委員

◎委員長 ○副委員長

総務市民委員会

◎原田 泰樹
○吉田善三郎
眞鍋 幹雄
三好 平
山本 照男
苅田 清秀
石津千代子
谷 國光

教育厚生委員会

◎石川 秀光
○吉原 敦
飛鷹 裕輔
山川 和孝
谷内 開
井川 剛
西岡 政則

産業建設委員会

◎国政 守
○石川 剛
三宅 繁博
川上 賢孝
篠永 誠司
青木 永六
曾我部 清

議会運営委員会

◎三宅 繁博
○石川 剛
眞鍋 幹雄
川上 賢孝
山本 照男
吉田善三郎
青木 永六

議会選出監査委員



井川 剛 議員

議会改革調査特別委員会

◎篠永 誠司
○吉原 敦
三宅 繁博
川上 賢孝
吉田善三郎
青木 永六
西岡 政則

地方創生特別委員会

◎眞鍋 幹雄
○苅田 清秀
三好 平
山川 和孝
谷内 開
曾我部 清
石川 秀光

広報ICT推進特別委員会

◎谷 國光
○石川 剛
飛鷹 裕輔
国政 守
山本 照男
井川 剛
原田 泰樹

議会だより編集委員会

◎山川 和孝
○眞鍋 幹雄
石川 剛
三好 平
谷内 開
吉田善三郎
井川 剛



一般質問

※紙面の都合上、質問・答弁の一部を要約して掲載しています

◆国指定史跡宇摩向山古墳について

質問 歴史的にも考古学的にも価値がある宇摩向山古墳だが、平成23年9月に国の史跡指定を受けて以来、今日までどのように調査・整備を行ってきたか。また、市内小中学校児童生徒に生きた教材としてどのように活用していくかを含め、今後の保存活用の具体的計画を問う。

答弁 市長、教育管理部長、文化・スポーツ振興課長



吉田善三郎議員

調査・整備については、平成24年度から基礎的調査などを行い、平成27年に「宇摩向山古墳保存管理計画」が策定された。また、全容解明に向けての調査も継続中である。宇摩向山古墳を核として、周辺には複数の古墳が集まっており、これら地域の文化財資源を活用した見学コースを整備し、その中で歴史考古博物館と連携することで児童生徒に実体験を伴った学びの場を提供し、郷土の歴史や文化に対する理解をより一層深められるよう学校教育とも連携を図りたいと考える。今後については、史跡を恒久的に保護するため、関係機関と協議しつつ追加指定を進めていく予定であり、未解明の部分の全容解明などに向けて人員確保に努め史跡を守り伝える体制づくりを図り、史跡の整備・活用を推進していく。

※宇摩向山古墳の詳細につきましては、市ホームページをご覧ください

その他の質問 ○本市の認知症に対する取り組みについて

◆合併時の公約【サービスは高く、負担は低く】を守る行財政の運営を求める

質問 公共施設の再編基本方針①公営住宅1,000戸減らし1,500戸とする。②図書館4館・体育館3館を各1館にする。④小学校19校を3から4割統廃合し、中学校、幼稚園・保育園も集約・再編し縮減する、など合併時の公約とは逆の国の押し付けから住民を守り、住民主人公のまちづくりに徹すべき。

答弁 政策部長



三好 平議員

この度の施設の再編方針は、「新市建設計画」の行財政運営の基本方針に基づいたものであり、安定した行財政運営を確保し、建物の安全確保と将来の行政需要に応じた施設の整備、市民サービスの向上を図ることが目的である。そのため40年先までの計画期間中10年ごと、または社会情勢などの変化に応じて適宜見直すこととしている。市営住宅は、県内11市の世帯当たりに対する管理戸数の平均と比べて約1.96倍多いため、民間活用も視野に入れ、適正な管理戸数の実現を目指したい。図書館・体育館については、20年・40年先の人口減少や社会情勢を見越した方針だが、機能の充実や運営方法などを検討しながら具現化していく。学校は、防災やコミュニティの機能など多面的要素を有することから、他の施設との複合化なども視野に入れ幅広く検討する。幼保一元化については、公立園の施設更新に合わせて、質の高い幼児期の教育・保育の一体的提供を進めるものであり、子どもを取り巻く環境や社会構造の変化にも柔軟に対応できると考える。

その他の質問 ○災害予防のため既存木造住宅耐震化促進事業の拡大を求める
○住宅リフォーム助成制度の活性化を求める

◆太陽の家移行の進捗、支援の必要な児童の進路、福祉避難所について

質問 太陽の家移転と移行支援の進捗を問う。また、発達障がいなどの支援が必要な児童生徒の進路相談支援の充実を問う。次に災害時における障がい者、高齢者、妊婦など弱者が必要とする災害時の福祉避難所は不足し、設置にも時間を要するという不安はないか問う。

答弁 市長、副市長、教育長、教育指導部長、学校教育課長



吉原 敦議員

太陽の家の移転準備の進捗状況として、今年度は移転候補地の選定を中心に検討作業を行った。移転候補地としてはさまざまな角度から検証を行った上で複数の候補地をリストアップし、それぞれについて独自の評価を行った。候補地の絞り込みについては、年度内の自立支援協議会において、優先候補地を選定して次年度以降の基本設計及び実施設計に繋げていきたいと考える。

進路相談については、お子さんの学校や園での学習や生活の様子、保護者の方のお気持ちを十分に把握しながら、教育相談や療育相談、特別支援学校や特別支援学級の見学などを重ねている。そして、医師や専門機関など関係者で組織する教育支援委員会の専門的意見などを総合的に勘案して就学先を決定している。

福祉避難所については、現在本市に6カ所あるが、ただ開設すればいいというものではない。もう一度、本市に開設可能な場所があるのか検討したい。

— 想い伝えるお手伝い。 —

株式会社エンプラ

〒780-0493 香川町 2582 TEL: 0896-25-2426 FAX: 0896-25-2570

住みなれた地域で、にこやかに幸せな生活を。

住宅型有料老人ホーム
ココロココ四国中央

連絡先 ☎ (0896) 24-7581
四国中央市下柏町661-1

住宅型有料老人ホーム
ココロココ三島

連絡先 ☎ (0896) 24-2300
四国中央市下柏町1087-1

株式会社ココロココ

新鮮!元氣!

JAうま農産物直販所

ジャジャうま市 9時～16時 (年中無休) 中之庄町1684-4 Tel: 23-3377	おいでや市 9時～16時 (火曜定休) 妻島町1121 Tel: 59-6001
ふれあい市 9時～13時 (火曜・年末年始定休) 金生町下分2550-2 Tel: 58-3953	

◆健康ポイント制度について

質問 医療費削減に向けて、更には健康寿命を延ばす健康づくりに誘導する方法として、楽しみながら定着させる健康ポイント制度について、本市のご所見を伺う。

答弁 副市長



眞鍋 幹雄議員

健康ポイント制度は、健康診断や健康教室、ウォーキングなど自ら健康づくりに参加することによって付与されたポイントを、自治体独自の賞品と交換できる仕組みとなっており、楽しみながら健康づくりに取り組む環境を醸成できることから、非常にいいアイデアであると思っています。

本市の取り組みとして、ポイント制度ではないが毎年10月に実施している健康まつりで、試行的に特定健診やがん検診受診者に抽選で景品をお渡しするという取り組みを実施したところ好評であった。

健康ポイント制度も含め、楽しく健康づくりができるよう他の自治体の事例も参考にし、健康づくり事業を推進していきたいと考えている。

その他の質問 ○文化財について ○地域おこし協力隊について
○人工内耳について ○中学校の防災部について

◆避難所運営について

質問 避難所の運営について、開錠は誰がするようになっていくのか。そして何よりも避難所運営は避難者自身が行わなければならないことの周知やそのためのリーダー育成はどのように進めているのか。

答弁 消防長



石川 剛議員

避難所の開門・開錠は、原則として市職員または施設管理者などが行うが、緊急時に対応できない場合を想定し、地域の中で鍵を保管する方をあらかじめ決めておくなどの管理体制を構築していきたい。

また、大規模災害時の避難所運営の主体が住民であることの周知については、避難所運営ゲーム（通称：HUG）を通して、「自助」「共助」の立場から、避難者自身が避難所を運営しなければならないという自覚の高揚に繋げていきたいと考える。

リーダー育成については、まずは自主防災組織連絡協議会の重要施策として、自主防災組織が結成されていない地域での結成を優先的に進めていき、その後県が実施する「防災士養成講座」なども活用しながら、地域のリーダーを養成していきたいと考える。

その他の質問 ○えひめさんさん物語以降の本市の魅力発信について

◆AI（人工知能）による総合案内について

質問 AIによる総合案内サービスは、市のホームページなどで市民の質問にAIが対話形式で答えてくれるサービスであり、住民票や印鑑登録、子育てに関する情報などを瞬時に教えてくれる大変すばらしいシステムだと感じている。このサービスについて本市での運用計画について伺う。

答弁 市長



谷内 開議員

AIによる総合案内は、住民から行政への問い合わせに対してAIチャットボット（文字による会話を自動的に行うプログラム）が対話形式で回答を行い、質問の趣旨を把握し回答やホームページ内の該当箇所に誘導するものである。本市では、愛媛県及び県内4市1町共同で令和元年9月から11月末まで、AIチャットボット技術を活用した住民向け窓口応答システムの実証実験を行ってきた。最終12分野、質問数約400問での参加だったが、10月末日までの2カ月間で約900人の訪問があった。多くの方の問い合わせに対応し、回答まで導いたことはサービスの向上及び業務効率化を実行できるものとする。今後AIチャットボットによる総合案内サービスについて関係各課とも十分協議を行い、より多くの分野での導入が行えるよう検討していきたいと考える。

その他の質問 ○公共施設について
○四国中央市歴史考古博物館高原ミュージアムはどのように変わるのか

「はやぶさ2」トークライブ シーズン2

2020年 2月24日 日曜

午後2時開演 (午後1時30分開場)

一般 前売 2,000円
学生 前売 1,000円
※当日各 500円増

※10名様以上の団体割引あり
※未就学児は無料整理券配布

お問い合わせ **ハイスタッフホール** TEL 0875-23-3939
<http://kanon-kaikan.jp/> FAX 0875-23-3966

たがみ鍼灸マッサージ院

出張できます (川之江・伊予三島地区)

営業時間: 9:00 ~ 12:00 13:30 ~ 18:30
定休: 木・土午後&日・祝

TEL 77-5111 予約優先

妻島町2870-1

ドア・窓・リフォーム

断熱、省エネ、快適

サトーヨー住器(株)

TEL 0120-62-1128

◆文化財の保存と活用について

質問 文化財の保存や活用について、どのような対策を行い、どのように活用していくのか。また、新文化財は発見されているのか。歴史考古博物館高原ミュージアムでの文化財展などを開催し、文化教養の向上に繋げていただきたいがどうか。



三宅 繁博議員

答弁 市長、教育長、教育管理部長

文化庁や県教育委員会の指導の下、文化財に関するガイドラインや通知にのっとり、有事の際の連絡体制構築や状況の把握に努めている。文化財を未来へ確実に継承するために、担い手となる子どもたちへの働きかけ、見学対応などを実施している。

市内では、開発事業などに伴う埋蔵文化財の発掘調査を適宜行っており、宝蔵寺跡で確認された古代官衙関連遺構などは、これまで知られていなかった学術的な発見で貴重な発掘成果である。

今回、収蔵棟が完成し収蔵環境の充実が図られたことにより、県で所蔵・管理されてきた考古資料の一括譲与を受け、順次公開する予定である。また、特別展示室の設置により借用可能な資料が増え、より誘客効果の高い企画展の実施が期待される。

その他の質問 ○農業用ため池の「届出制度」について ○市の花木などの制定について

◆口腔ケアについて

質問 予防歯科という言葉が当たり前になり、歯科衛生士の役割に関心が高まっている。歯垢は全身疾患を引き起こす可能性もあり、誤嚥性肺炎・認知症との関連性など口腔環境が健康と密接に関係している。本市での重症化予防・介護予防への取り組みと状況を伺う。



山本 照男議員

答弁 福祉部長

本市の地域包括支援センターでは、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることのできるまちづくりを目指し、元気な高齢者を増やすための介護予防事業に取り組んでいる。介護予防の観点からの口腔機能の向上については、宇摩歯科医師会をはじめ、歯科衛生士、言語聴覚士と連携した事業を進めており、口腔ケアの大切さやセルフケアの方法を学んでいただく場として、「お口の健康教室」を開催する他、住民主体の筋筋体操つどいの場で行う口腔体操として、「かみかみ100歳体操」の普及に努めている。この「かみかみ100歳体操」は、週に1回程度行うことで飲み込みの回数が増えた、舌の動きが良くなったなど摂食・嚥下機能の向上に関する数値データにも変化が表れており、口腔機能の維持向上に繋がっている。今後においても、市民が主体的に口腔ケアに取り組めるよう数値データを活用しながら、市民のやる気を促す普及啓発を行っていく。

その他の質問 ○温暖化による影響は ○地域の暮らしを守る防犯対策について

◆子ども若者発達支援センターにおける就学前の5歳児健診について

質問 早期発見・早期対応、子どもたちに最適な教育を受けさせてあげたいとの思いから、家庭事情にも大きく左右される子どもたちの未来のために、大変重要であり必要不可欠と思われる就学前の5歳児健診について、本市での実情とご所見を伺う。



国政 守議員

答弁 市長

5歳の頃は、3歳児健診では明らかにならなかった発達上あるいは社会性における課題が表れてくる時期であり、そのような課題が見逃されないよう、早期発見・早期支援のためには5歳児健診が有効であると考えられている。

本市では、平成29年度に策定したパレット・プランにおいて、今後の取り組みとして5歳児健診の実施について規定し、先進地視察を含めた検討を障害児等福祉審議会に諮りながら進めてきた。検討の結果、保護者アンケートに基づく個別の相談と在籍園への訪問相談による「年中児相談」を昨年度は市内の3園、今年度は5園をモデル園として実施している。2年間のモデル事業の評価を基に、この「年中児相談」を来年度からすべての園に拡大して実施できるよう現在作業を進めているところである。

その他の質問 ○高齢者ドライバーの安全運転推進について ○環境整備の推進について
○野生鳥獣被害対策について ○地域医療について

家族葬祭壇デビューしました
祭壇の形態はもちろん、祭壇、祭壇を問わず、あらゆる祭壇に対応させていただきます
今から後悔しないために
事前相談
してみませんか

アリエール之江
四国中央市番町2788 TEL:58-6889
アリエール三宮
四国中央市中之庄1684-4 TEL:24-5600
アリエール土庄
四国中央市土庄町上原2219
TEL:76-2020 (三宮駅前・JR1分)

三島川之江インターから
三宮・大阪へ 1日9往復
東京・新宿・名古屋
松山・高知・徳島へ
好評運行中!

ジェイアール四国バス 検索 クリック
ジェイアール四国バス

あなたのお店や会社をPRしませんか!
広報四国中央
広告主
募集!

問い合わせ先 広報広聴係 28-6158

◆ペット可の公園とドッグランの整備について

質問 今やペットは家族の一員であるが、ペットと一緒に利用できる公園は市内にいくつあるのか。また、ペット可と不可を明確に表記していただきたい。ペット可であっても周囲に迷惑をかけないように努めるのは当然であるが、思い切り走らせてあげるためのドッグランの整備についてご所見を伺う。

答弁 建設部長、都市計画課長



井川 剛議員

本市には合計174カ所の公園などがある。そのうちペットの利用が禁止されていない公園などは166カ所あるが、リードを外すことは禁止されている。また、ペット可を表示する案内板の設置や、ペットと散歩できる公園マップなどの作成は、利用しやすい環境づくりに効果的であると考えている。公園とペットに関する情報や、ルール・マナーの啓発も併せて市のホームページなどを通じ、市民の方へ周知していきたいと考えている。ドッグランの整備については、本市に公設のドッグランはないが金生町と土居町には民間事業者により有料で運営されている施設がある。ドッグランの設置にはスペースの問題や運営上の課題もあり、現状の公園などへの設置は難しいと考えられる。しかし、ペットとの交流施設が本市の目指すあたたかい環境の構築に繋がる可能性もあり、設置可能な公園の抽出、使用に関するルール、ボランティア団体による管理運営など、公園施設の在り方を研究していきたい。

その他の質問 ○市民交流棟の利用について

◆市営住宅入居基準から連帯保証人の規定を除くべき

質問 市民から連帯保証人2人の確保が困難との声を聞く。国が示した住宅困窮者に提供する公営住宅で、保証人を確保できないために入居できないといったことが起きてはならないとする通知に沿って、保証人の規定を削除することを求める。

答弁 副市長



飛鷹 裕輔議員

連帯保証人については、納付指導通知書の送付などによる滞納家賃の解消や、入居者の不慮の事故への対応を始め、管理業務においてもその設定は必要であり、現状ではやむを得ない措置であると考えている。ある報道によると連帯保証人の規定を残すことについては自治体での判断で分かれているという状況である。廃止する自治体もあれば、本市と同様に滞納家賃を徴収できなくなるという理由から維持する自治体も多い。47都道府県と20政令市を対象に行われた、ある調査結果によると規定の廃止と維持が半々という現状であった。本市においても、今後入居者の実態に応じた対応策について、他市の動向を注視しながらその是非を検討していく必要があると考える。

その他の質問 ○支払い義務のない差額ベッド代の請求について

○高齢者が自ら運転しなくてもいい環境の整備について

◆予算編成方針の早期公開と市民負担増を避ける予算編成を求める

質問 3月議会直前に新年度予算と併せて示す予算編成方針を、議会や市民に早期に公開し税金の大きな使い方を示すこと。また、消費税10%への増税や医療費・介護費用などで市民の負担が増える中、新年度予算の放課後児童クラブの値上げなどは止め市民の暮らし最優先を求める。

答弁 副市長、総務部長、福祉部長



青木 永六議員

予算編成方針の公開については、他市の調製方法を調査し令和3年度の予算編成方針の公開の是非を含めて、時期・調製の在り方などを検討したいと考えている。来年度の予算編成方針については、市税などの一般財源の大幅な増加が見込まれない状況の中で、第2次総合計画後期基本計画に位置付けられている施策を展開し、抜本的な歳出の構造改革を行いながら施策の推進と財政の健全性の両立を図った予算編成とすることを基本的な方針としている。

放課後児童クラブの負担金については、支援員確保が厳しい状況の中で値上げという視点だけではなく適正な負担をお願いすることにより、本当に利用が必要な方が申し込み登録していただくことを前提とし、平成22年度以来据え置いていた負担金見直しを検討している。

その他の質問 ○会計年度任用職員問題について ○加齢性難聴者などへの補聴器導入の公的助成について

議会を傍聴してみませんか？

本会議及び委員会は原則として公開していますので、どなたでも傍聴することができます。傍聴を希望される方は、本会議及び委員会当日に、市役所6階で傍聴人受付簿に住所、氏名をご記入のうえ、傍聴してください。また、本会議の様子はケーブルテレビ、インターネットで生中継をしています。

◆四国中央病院は現在地がベストである。移転は考え直すべきではないか

質問 四国中央病院は、60年の歴史を持ち、川之江地域の住民になくなくてはならないものである。移転について、最優先に地元住民への説明責任を果たすべきである。議会での討論も不十分なまま、多くの立地問題を抱える予定地への移転は反対である。

答弁 市長、市民部長



谷 國光議員

地元住民への説明責任について、中核病院の建設は公立学校共済組合が主体であり、本市が独自に説明できるというものではない。地元住民への説明も含め市民への情報提供については、その都度公立学校共済組合の合意が必要であるため、今後も連携を図りながらお知らせしたいと考える。中核病院建設の第一候補地となっている三島医療センターは埋立地に位置しており、液状化は懸案事項の一つである。建設候補地については、事業主の公立学校共済組合が建設計画の中で、将来の地震発生に対し十分な検討を行い対策されるものとする。本市においては、大災害時における病院へのアクセスルートの確保として、国道11号線から建設候補地までの市道の地盤を調査中である。また、過去に建設候補地に高潮浸水被害はないが比較的沿岸部に位置するため、想定し得る最悪の事態を視野に入れ、危機管理・避難体制の充実を図る必要があると考える。

その他の質問 ○教育委員会の信を問う

令和元年 第4回 四国中央市議会定例会 議決結果一覧

番 号	件 名	議決結果
議案第79号	四国中央市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について	原案可決
議案第80号	四国中央市人権尊重のまちづくり条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第81号	四国中央市下水道条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第82号	令和元年度四国中央市一般会計補正予算（第4号）	原案可決
議案第83号	令和元年度四国中央市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第84号	令和元年度四国中央市水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第85号	令和元年度四国中央市工業用水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第86号	令和元年度四国中央市公共下水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第87号	新市建設計画の変更について	原案可決
議案第88号	公の施設の指定管理者の指定について	原案可決
議案第89号	土地の処分について	原案可決
議案第90号	市道路線の認定及び一部廃止について	原案可決
議案第91号	四国中央市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について	原案可決
議案第92号	令和元年度四国中央市一般会計補正予算（第5号）	原案可決
議案第93号	令和元年度四国中央市水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第94号	令和元年度四国中央市工業用水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第95号	四国中央市監査委員の選任につき同意を求めることについて	同 意
認定第1号	平成30年度四国中央市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認定第2号	平成30年度四国中央市水道事業会計決算、四国中央市簡易水道事業会計決算、四国中央市工業用水道事業会計決算及び四国中央市公共下水道事業会計決算の認定について	認 定
選挙第1号	愛媛県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙について	指名推薦
31年 陳情第1号	奥山等の杉・ヒノキ放置人工林を、森林環境譲与税（仮）で順次計画的に皆伐を進め、天然林に戻すことを求める陳情	継続審査
31年 陳情第2号	市有林（人工林）の自然林化に関する陳情	継続審査
元年 陳情第3号	家族従業者の人権保障のため「所得税法第56条の廃止を求める意見書」採択を求める陳情	継続審査

本会議での発言を記録した12月定例会の「会議録」を、3月上旬に市役所庁舎棟1階ロビー、各窓口センター及び市内各図書館に備え付けます。
また、市議会ホームページにも全文掲載します。検索も可能ですのでご覧ください。

総務市民委員会の審査概要

※紙面の都合上、質問は抜粋しています
※委員会の様子をケーブルテレビで放送中

◎原田 泰樹 ○吉田善三郎 眞鍋 幹雄 三好 平 ◎委員長
山本 照男 苅田 清秀 石津千代子 谷 國光 ○副委員長

●議案第 80 号 「四国中央市人権尊重のまちづくり条例の一部を改正する条例について」

質問 条例の中に調査とあるが、身元調査お断りに逆行するのではないかと。

答弁 本条例の調査は、人権施策を効果的に推進していく上で人権意識の高揚を図るための施策、また人権擁護に資するための施策を講じていくものである。

●議案第 82 号 「令和元年度四国中央市一般会計補正予算（第 4 号）」【所管分】

質問 公債費は大幅に減っているが、どれ程利率が変わったのか。

答弁 臨時財政対策債は 20 年の借入期間で 10 年経つと利率を見直すルールがあり、平成 20 年度に当時 1.4%で借り入れていたのが 0.01%となった。

●議案第 87 号 「新市建設計画について」

質問 主要事業はどの程度実現するものを上げているのか。

答弁 実際に事業を進めるに当たっては、優先順位をつけ、合併特例債を使える事業を推進していく形になっている。

教育厚生委員会の審査概要

※紙面の都合上、質問は抜粋しています
※委員会の様子をケーブルテレビで放送中

◎石川 秀光 ○吉原 敦 飛鷹 裕輔 山川 和孝 ◎委員長
谷内 開 井川 剛 西岡 政則 ○副委員長

●議案第 82 号 「令和元年度四国中央市一般会計補正予算（第 4 号）」【所管分】

質問 生活保護適正実施推進事業のシステム改修委託料とは何か。

答弁 平成 30 年に生活保護法が改正され、進学準備給付金が認められたことにより、マイナンバーカードとの連携が必要となったため、システム改修するものである。

質問 空調設備の電気代について、完成すると年間どのくらい必要で、予定よりどの程度上がるのか。

答弁 電気代は、例年小学校で約 5,000 万円、中学校は約 3,000 万円である。来年度の見込みは他市の実績も参考に、小学校では約 6,500 万円、中学校は約 4,000 万円で合計 1 億円超えを想定している。

●議案第 88 号 「公の施設の指定管理者の指定について」

質問 委託することによって、費用的メリットはあるのか。

答弁 指定管理とした大きな目的の一つが人件費の削減である。また、費用面だけでなく一体的に指定管理者としているので、それぞれの専門職が連携をとりながら共同事業などの効果的なイベントを行っている。

産業建設委員会の審査概要

※紙面の都合上、質問は抜粋しています
 ※委員会の様子をケーブルテレビで放送中

◎国政 守 ○石川 剛 三宅 繁博
 篠永 誠司 青木 永六 曾我部 清

川上 賢孝 ◎委員長
 ○副委員長

●議案第 82 号 「令和元年度四国中央市一般会計補正予算（第 4 号）」【所管分】

質問 県の畜産協会負担金 1,317 万 2,000 円の内容について、豚コレラウイルスが拡散しないよう畜舎の周りをフェンスなどで囲うだけで有効な手段になるのか。

答弁 現在、日本の中で発生しているのは豚コレラウイルスだが、その豚コレラウイルスに関して、中部地域では野生の猪が感染してそれが直接豚と触れ合うことはないかもしれないが、糞尿などで感染を拡大することがある。まず、その恐れを取り除くには畜舎の周りを金網などで野生動物が侵入しないように囲うことが一つの有効な手段である。この事業については、県の畜産協会が取りまとめをしており、現在市内 16 の養豚農家があるが、そのうち 15 件がこの補助金を使って柵を作る予定になっており、1 件は自主施工すると聞いている。

質問 県の畜産協会が負担するのは、どこまでの部分なのか。

答弁 畜産協会は、その事業の取りまとめをしており指導なども行うが、基本的には各養豚農家が周りを囲い、農家の方は 10 分の 1 の負担をする。畜産協会に対しては、国が 2 分の 1、県が 5 分の 1、市が 5 分の 1 の負担割合で負担金を払う予定である。

辻 直美さんによる防災講演会が開催されました！

令和元年 11 月 4 日（月）四国中央市議会防災講演会に辻 直美さんをお招きし「生き抜くためのサバイバル講座～あなたは本当に助かりますか～」を演題とした防災講演会を開催いたしました。

当日は、各地域の自主防災会の会員を中心に約 80 名の方々にご参加いただき、講演会では、辻さんのこれまでの被災地での経験を基に、災害の悲惨さや避難生活の過酷さをお話していただくとともに、新聞紙を使った即席足袋の作成、ペットシートを使った簡易トイレの作成、ツナ缶を使ったキャンドルの作成の実演も行われました。



～新聞紙で即席足袋を作成している様子～



～ 辻 直美さんのプロフィール ～

一般社団法人 育母塾 代表理事

災害レスキューを専門とし、現在も救命救急災害レスキューナースとしても活動中（国境なき医師団・JMTDR在籍）である。救急についての講演だけでなく、育児の在り方やママと子どもの姿勢についての講演会や講座を全国で開催している。ママ向けだけでなく、病院や保育園幼稚園スタッフに向けた講座も実施。大学での助産師科、看護科、保育科の非常勤講師も務める。

～ 議会活動 ～

11/4 (月・祝)

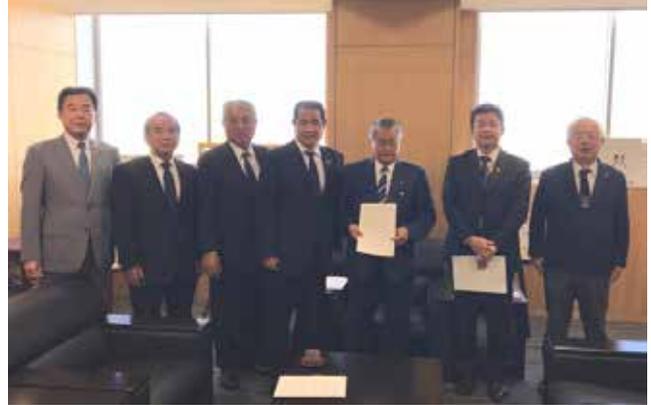
議会BCP（業務継続計画）
初動期対応訓練を行いました



四国中央市議会BCPでは、災害発生時に議会機能の回復に向けた第一歩として、議員の安否の情報を議会事務局に集約することとしていますが、実際の災害時には電話やメールなどは制限が掛かり、使用できない場合があります。そこで今年度はタブレット端末を使用して、議員が登庁していない状況での災害発生を想定した、初動期対応訓練を実施しました。

11/15 (金)

常任委員会による政策提言書を
篠原市長へ提出しました



議会基本条例の活動の一環として、各常任委員会においてテーマを設け政策に関する提言を行うこととしてしています。下記の政策提言を篠原市長へ提出しました。

- ・総務市民委員会 防災への政策提言
- ・教育厚生委員会 共生社会構築への政策提言
- ・産業建設委員会 ブロック塀除却助成への政策提言

11/8 (金)

嶺南地域（金砂町・富郷町）において現地視察を行いました



昨年8月10日に実施した議会報告会において、出席者から道路の状況や水路が詰まっているところなど、豪雨災害が発生した際に危険と感ずる箇所を見てもらいたいとの意見があり、現地視察を実施しました。

当日は、地域の方とともに金砂町・富郷町に分かれて現地を視察し、危険箇所の確認を行いました。

現地視察を終えて改善が必要とされる箇所については、議会から各担当課へ早期の対応を要望しています。

《議会だより編集委員会》

編集委員 ◎印は委員長 ○印は副委員長

◎山川和孝 ○眞鍋幹雄 石川 剛 三好 平 谷内 開 吉田善三郎 井川 剛

【問い合わせ先】

〒799-0497 愛媛県四国中央市三島宮川4丁目6-55(四国中央市議会内) TEL 0896-28-6048